

第 16 回 札幌開発建設部遊水地事業監理委員会 議事要旨

【開催日時】 令和 6 年 10 月 31 日（火） 14:00～15:30

【開催場所】 札幌開発建設部

【委 員】 ◎ 加賀屋 誠一（北海道大学 名誉教授）

黒木 幹男（NPO法人 環境防災研究機構北海道 代表理事）

（WEB） 佐々木 悟（寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長）

平澤 亨輔（札幌学院大学 名誉教授）

矢部 浩規（寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ長）

※◎は委員長（50 音順）

【議 題】

1. 審議

北村遊水地

- ・ 工程管理について
- ・ 事業費管理について

【議事要旨（委員会意見）】

- ・ コスト縮減に向けた取り組みについて、今後の取り組み状況を踏まえ、最終的にはどれほどの経費削減になるのか整理すること。
- ・ 物価が上がっている現在においては、工期を守ることが何よりのコスト縮減になると思うため、関係機関と連携を図り工程管理を念入りにすること。
- ・ 用水路の浮上対策については、これまでのオープン水路からパイプライン化へと水利システムが変化することで農家の方の利便性や工事に伴い営農へ支障が出ないよう、農家の方の意見を十分聞いて、設計・整備を進めていく必要がある。
- ・ 遊水地内の用地補償について、施設完成時に所定の機能が発揮されるよう引き続き関係者と調整を進めること。
- ・ 流木捕捉施設として整備する樹林帯について、樹木の大きさや間隔によりどれぐらい流木を捕捉することを想定し、それに向けた整備基準やその後の維持管理手法についても検討を進めていただきたい。
- ・ 排水門の工事の仮締切で使用している鋼矢板を、その後の越流堤工事で再利用することによりコスト縮減が図れる可能性がある。転用も含めて最適な工法を検討してほしい。
- ・ 軟弱地盤上に築造している施設のため、将来、沈下が生じる可能性があり、また地震時に問題も起こり得る。そのため長期的な視点として、今の段階から将来の維持管理手法を検討していく必要があると考える。
- ・ 昨年の事業費及び事業期間の変更を踏まえ、より一層の事業監理の徹底を図り、コスト縮減、適切な事業執行と早期完成に向けた事業進捗に努めること。

以上